



神奈川県オレンジ・チューターの活動

神奈川県オレンジ・チューターの上原孝介さんにお話を伺いました。

【神奈川県オレンジ・チューターについて紹介します】

現在、神奈川県にはオレンジ・チューターが3名おります。

主な役割として、①認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ(※)」の構築支援(主に県内の市町村や団体などへの助言、研修会講師等)、②「チームオレンジ」の資質向上支援(市町村や団体などへの助言、研修会講師等)を行っております。

また、外出支援や話し相手、認知症の人の居宅に出向く出前支援、認知症当事者の講演のサポート、キャラバンメイトの育成、研修会講師など様々です。

(※)チームオレンジ

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター(認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者)を中心とした支援者をつなぐ仕組み。(厚生労働省ホームページ「チームオレンジの取組の推進」から)

【地域の皆様へのメッセージ】

「つながり」を絶やさないことが大切です。認知症と言われ、今までのようにいかないことも出てくるかもしれません。必要な時に助けを求められるように友人や近所の人など「つながり」を絶やさないことが大切です。その他家族、相談機関(地域包括支援センター、市の地域福祉課(ほっとかん)など)は頼りになります。「認知症カフェ」への参加もよいでしょう。

【私が認知症について思うこと】

まず認知症に対するイメージを取り直しましょう。「何もわからなくなる」「何もできなくなる」「認知症になったら終わりだ」、こんなイメージをお持ちの方は少なくないと思います。苦手なことやうまくいかないことは出てきますが、わかること、できることはたくさんあります。

認知症になってからも、自分らしく暮らし続けている人もたくさんいます。「どんな毎日を送ろうか」と考え、取り組んでいくことが自分の時間に価値をもたらすのではないのでしょうか？また、できなかったとしても責めたりせず、できることをやることで自信につながります。失敗してもそっと「見守る」ことが大切です。また、自分の変化に気付いたら、かかりつけ医に早めに相談・受診をお願いします。具体的な受診先がわからないときは地域包括支援センターなど地域の関係機関に相談してみてください。

問い合わせ先:福祉総務課 地域力推進係 (046-822-9804)